

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
330012	XZY3330012	2	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
				情報文化学部情報文化学科	専門	選択必修	2年
日韓朝関係論	吉澤 文寿			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×		
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
この講義は「アジアと日本」（朝鮮と日本編）および「韓国朝鮮史概説」の内容をふまえて、植民地支配と南北分断の問題をテーマとして、おもに1945年から現在までの日本と南北朝鮮との関係を考察することにより、朝鮮現代史および日朝関係史を連関させて理解することを目指す。							
各回毎の授業内容							
第1回				第9回			
【授】講義の概要、レポート作成および参考文献案内				【授】1970・80年代の日本と南北朝鮮～経済と人権の問題を中心に			
【前・後】伝達事項の確認（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第2回				第10回			
【授】問題の所在（1）…植民地支配をどのように問うのか				【授】在日朝鮮人と日本社会～1970・80年代を中心に			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第3回				第11回			
【授】問題の所在（2-1）…朝鮮の「解放」、そして分断体制の成立と日本				【授】脱冷戦と南北対話の進展（1987年～現在）			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第4回				第12回			
【授】問題の所在（2-2）…朝鮮戦争、そして日本との関係について				【授】竹島＝独島問題を考える			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第5回				第13回			
【授】問題の所在（3）…在日朝鮮人の形成（1945～1952年）				【授】脱冷戦期の日本と南北朝鮮～韓国での過去清算、日朝交渉を中心に			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第6回				第14回			
【授】在日朝鮮人帰国事業～1950年代の日朝関係				【授】脱冷戦期の在日朝鮮人と日本社会			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第7回				第15回			
【授】日韓国交正常化（1965年）				【授】まとめ…現在の日本と南北朝鮮との関係と私たちの課題			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）			
第8回				第16回			
【授】米中和解と南北対話の開始～南北共同声明（1972年）をめぐる展開を中心に				【授】定期試験（レポート提出）			
【前・後】書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）				【前・後】レポート作成（予習・復習各2時間）			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
レポートによって単位認定をする。ただし、私が担当する他の講義より高い完成度を求めたい。 講義ごとに配布するミニッツペーパーも成績評価に加味する。 ミニッツペーパーは授業中に公表し、講評を加える。							
教科書参考書							
教科書は使用しない。講義時にレジュメを配布する。							
受講に当たっての留意事項							
本講義を理解する上で、「日本史（近現代）／アジアと日本」および「韓国朝鮮史概説」を履修しておくことが望ましい。							
学習到達目標							
受講者が日本と南北朝鮮との関係の概要を習得したうえで、1）みずからの関心に即してテーマを設定し、2）そのテーマに即した文献および資料を収集および分析し、3）一定の結論に到達できることを目指す。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習